

## 令和7年第1回教育委員会定例会 議事録

### 1 教育長あいさつ

令和7年新年最初の教育委員会定例会を開催いたします。例年と比べ穏やかな年末年始でした。皆様、ご家族やご親戚と和やかな年始をお迎えのことと思います。昨年を振り返りますと、正月早々の能登半島での地震があり、被災された方々には心からお悔やみとお見舞いを申しあげ、一日でも早い復興を願うばかりです。本日は市内11校すべてで3学期始業式。インフル・コロナの蔓延予防やこの度の寒波もあり、全校児童生徒を体育館に集めずに、オンラインでの始業式が多かったようです。

さて、今年の干支は巳です。古くから蛇は脱皮して大きく成長する様子などから、再生や変革の象徴とされてきました。本市の教育につきましても、脱皮して成長を続ける蛇のように、多様な課題に向けて、変化を恐れず改善をめざし着実に全力で取り組んでまいりたいと思います。そのためには委員の皆様のご理解と協力なくしては、叶いません。昨年同様レイマンコントロールの考え方で忌憚のないご質問やご意見を賜りながら教育行政を進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

「はたちの集い」が1月2日に開催されました。178名へ案内を出したところ、150名の参加がありました。令和になって最も高い参加率となりました。代表者あいさつでは、青陵中の下田悠雅さんが「自分たちが社会人として成長し、今まで支えてくださった方々を支え、次の世代に夢を見せられるような立場になれるよう精進する」との決意が印象的でした。また、アトラクションの石見神楽恵比寿も江津中出身の波田渉太さんが舞い、好評を博しました。江津市で生まれ育った178名が、それぞれ自己実現されることを心から期待しています。

続いて、五十嵐百合子先生が瑞宝双光章を受章され、1月6日に教育長室でお渡し、これまでの勤務校でのご功績や様々な思い出話を聞かせていただきました。五十嵐先生が強調して話されたのは、その時その時の出会いに恵まれたということ。児童に先生の字は上手くないと言われ、習字を習い始めたこと。有福温泉小で残留孤児の子どもと話したくて中国語を学んだこと。竹籠を見て、私にだってできると思い、作り始めたことなど1時間があっという間でした。

昨日、三市三町教育長会議が開かれ、本格的に定期人事異動作業に入りました。今後、2月初旬まで毎週火曜日には教育事務所で所長、調整監のそれぞれとヒアリングを行います。適材適所の配置ができるよう校長先生方とも連絡を密にとりながら進めます。

それでは、本日の定例会も、慎重なる審議、また忌憚のない意見交換や質問をお願いいたします。

### 2 教育長の報告 (別紙 教育長勤務報告のとおり)

### 3 議事録署名議員

○教育長

本日の署名委員は、福田委員と岡田委員にお願いします。

### 4 議決事項

#### ① 指定校変更(校区外就学許可)について (新1年生分) 中学校 2件

○河野課長補佐より説明

変更理由)1名は、友人関係の配慮等、もう1名は、希望する部活動がないため。

<委員からの意見・質疑等>

○福田委員

・学校に行くのに前向きになるのであれば、指定校変更も1つの手法ではないか。ぜひとも中学校でがんばってほしい。

・部活動を理由としている生徒については、本当にその部活動に入ったかの確認が必要ではないか。

○天倉委員

・環境を変えてよい方向に向かってくれるとよい。

・指定校変更してJRで通う場合に補助はないのか。

○教育長

・指定校変更した場合は、通学の補助はない。

・学校を変わってもうまくいかないこともある。しっかり連携して小学校での状況を共有し、配慮する必要がある。

<全員一致で承認>

## 5 報告事項

### ① 相談箱の投函に係る対応等について

○河野課長補佐より説明

12月は各中学校とも投函なし。

<委員からの意見・質疑なし>

### ② 12月市議会定例会一般質問の概要について

○河野課長補佐より説明

学校教育課関連については4議員からの質問あり。

・子どもにやさしいまちづくりについて(下谷議員)

・小学校統合問題について(植田好雄議員)

<委員からの意見・質疑等>

○岡田委員

西部統合小学校建設が進んだことにより、他の学校についても統合の動きが出てくるのか。

○教育長

現行の第2次学校整備再編基本計画の見直しについての協議を始めることになる。

郷田小学校の体育館が非常に厳しい状況にあり、屋根にブルーシートがはってある状況。

建て直しやリースなど色々な選択肢がある。今後は、第2次基本計画にあるように中部の3つの小学校の統合も視野に入れながら、令和7年度から早急に検討に入らないといけないと思っている。いずれにしても子どもたちの教育環境を少しでも良いものにしていくというビジョンは変わらない。

・小学校の遊具について(森川議員)

・第2次学校整備再編基本計画について(坂田議員)

<委員からの意見・質疑等>

○福田委員

坂田議員が江津東小学校と江東中学校の小中一貫校の考え方について質問している。小中一貫校になっているところが他市でもあると思うが、江津市のような小さい規模でもやっているところがあるのか。

○教育長

小中学校で一貫して教育を行う義務教育学校については、県内では松江市で実施している。

○福田委員

規模の小さい学校でも小中一貫校というのは、一つの考え方なのかもしれないが、同じくくりでいると小さいからこそその弊害もあるのではないかと感じている。

中学校では、他の地区の生徒も入ってくるという方がむしろ、江津市の規模としてはいいのではないかという気がしている。

うまくいくときはいいが、逆に上手くいかないという危険性をはらんでいるかもしれないと個人的には感じている。小中一貫校にすると小学校の統合から外れてしまうのでなかなか難しい。

○佐々木委員

小中一貫校にしたときには、そこを選ぶという選択肢も出てくる。

例えば、江東中学校と江津東小学校が一貫校になり、一貫した教育ができるからこそそこへ行くという可能性もでてくる。

いずれにしても、形だけの議論だけでなく、どれが地域や子どもにとってプラスなのかを中心に据えた考えをしないといけない。

○教育長

現状では平成23年策定の第2次学校整備再編基本計画では4小学校に集約、中学校は当分の間4校。青陵中学校と西部統合小学校、江津中学校と中部の小学校、江東中学校と江津東小学校、桜江中学校と桜江小学校という4中学校4小学校という計画が立てられている。

しかし、その見直しが必要な時期ではないかという意見をいただき、令和7年度から本格的に着手することになっている。

### ③はたちの集いの実施状況について

○植田課長補佐より説明

日 時:令和7年1月2日(木) 午前11時~11時45分 (10時~受付)

場 所:江津市総合市民センター

出席者:150人(出席率:84.27%)

来 賓:20名

記念品:石州勝地半紙の「名刺入れ」

<委員からの意見・質疑等>

○天倉委員

はたちの集いのアトラクションにはたちになった人たちが中心に神楽団を組んで出られたというのは非常に良かったと感じた。完成度も非常に高く、自分たちでも祝うという姿勢が良かった。

### ④コミュニティ・スクールについて

○植田課長補佐より説明

<委員からの意見・質疑等>

○天倉委員

一番大事なのはやはり意識改革だと思う。学校だけでなく地域の意識も変わってくるのが大事。

○佐々木委員

それにはすごいエネルギーが必要。学校も地域も変わるのには相当なエネルギーが要る。

学校の場合は色々な形で枠が決まっている部分があるので、枠を変えていくというのはできない部分もあるが、それを理解した上で、地域が絡んでいかないといけない。口で言うほど簡単ではない。

○福田委員

地域がどう学校と連携していくか。連携というか一緒になってやっていること。

地域側の大人は、限られた人数になっている。コミュニティ・スクールは関わる大人をもうちょっと広げるようなイメージでいる。

○植田課長補佐

言っていたように地域の大人たちの意識が変われば、子どもへの接し方も変わり、子どもが成長する。もちろん大人の意識が変われば、大人も成長している。社会教育としては、地域の大人に変わってほしい。

この仕組みをうまく利用して、いろんな地域の活性化につながったり、仕組みづくりが進む。ただし、仕組みを変えたから急激に何かが変わるのは残念ながら難しい。少しずつ意識をもっている人が増えたり、子どもへの接し方が変わったりすればいいのかなと思っている。

○佐々木委員

保護者と子どもたちと学校の関係が、だんだん薄らいできたのを地域の方で補完したというか、地域・学校・保護者がみんなで子どもの成長を見てるような実感がどれだけでもてるかだろうと思う。

○福田委員

もちろん地域の間人も手伝うが、保護者にももっと積極的に関わってほしい。

○教育長

すごく大事な視点だと思う。保護者が地域や学校に任せるためのコミュニティ・スクールではない。

今年度は津宮小がモデルとして先頭を切ってコミュニティ・スクールを進めていただいているが、来年度は本格的に4中学校が導入し、残りの小学校6校にも展開していく形を目指している。

○佐々木委員

社会教育の立場で言うと、やはり意識が変わっていかないといけないと思う。

今みたいに広げようと思うとなかなか難しいところもある。変えたからと言ってどれだけの効果があるかは分からないが、そういう小さい取り組み方をしていかないといけないと思う。

○天倉委員

保護者の方にも地域の一員として一緒に子どもを育てるという意識をもってもらえるとよい。

## 6 その他

### ①社会教育施設の視察について

○植田課長補佐より説明

視察予定場所:桜江B&G海洋センター・桜江第1柔剣道場・江津市水ふれあい公園水の国  
松林宗恵映画記念館・大元神楽伝承館・江津市桜江文化福祉センター

日 程:1月31日(金)午前中

### 子ども食堂について

○天倉委員

本町の地域子ども食堂に参加した。子どもだけでなく、地域の人が集って食べる場があるのはいい取り組みだと感じた。

### FAXについて

○天倉委員

新聞に、ICT化といいながら今も学校ではFAXを使用していると記事が載っていたが、江津市ではどうか。

○事務局

学校だけではなく、市教委でも現在FAXを使っているケースがあるが、今後メールなどで対応できるものは対応を検討していきたい。

午後3時29分終了